

リフト使用での効果



BEFORE



ゾーニング中にADL低下。

全身の強い筋緊張によって、頸部後屈、下肢外旋が発生した。上肢も拘縮傾向になり、食器類をはじめ物が掴めないようになり、座位も安定しなくなった。

介助で職員が身体に触れると、更に緊張が高まる悪循環に陥った。

移乗介助は職員2人でも負担が大きく、ハイリスクとなった。

AFTER



リフトを導入。

およそ2週間で筋緊張が緩和し、下肢の外旋が改善した。全身の柔軟さが回復するにつれて、頸部後屈も改善し、座位姿勢も安定した。物も掴めるようになり、食事も自力摂取できるまでになった。

今後は再度、立ち上がりおよび立位保持にトライしていきたい！